

## Topics

### 今年1年幸せが訪れますように…無病息災を祈願して

1月14日から15日にかけて、町内各地区で「どんど焼き」が行われました。

門松やしめ飾りといった正月飾りやお守りを一カ所に積み上げて燃やし、正月に迎えた歳神様を天に見送るとされている「どんど焼き」。その煙にあたり、その火で焼いた餅を食べたりすると、1年間健康で過ごせるとも言われています。

神事後、代表者らによる火入れが行われると、竹が燃える大きな音とともに、豪快に燃え上がり、参加者たちはその高く燃える炎に、今年1年の無病息災や五穀豊穡を祈願していました。



▲愛治地区のどんど焼きの様子



▲近永地区奈良組のどんど焼きの様子

## Topics

### 無病息災を願い、元気に豆まき

2月2日、道の駅森の三角ぼうしで、節分イベントが行われました。

鬼のモニュメント「鬼王丸」の誕生を祝う周年祭として、今年で3回目を迎えるこのイベント。イベントには、近永保育所とさくら保育所の園児約40人が参加しました。園児たちは、節分豆が入った柀を片手に、「福はうち、鬼もうち」という、鬼王丸にちなんだ元気な掛け声とともに、盛大に豆まきを行いました。

また、同会場では「寒の餅つき大会」も開催。豆まき終了後には、鬼王丸の誕生と無病息災を祈願して、園児らにつきたてのお餅が入ったぜんざいが振る舞われ、子どもたちは美味しそうに頬張っていました。



▲元気な掛け声とともに豆をまく兵頭町長と子どもたち

## Topics

### 活力ある地域づくりのために

2月10日、中央公民館で「愛媛大学・鬼北町連携協力協定」の調印式が行われました。

この協定は、国立大学法人愛媛大学と当町が緊密に連携協力し、多様化・高度化する地域の課題に迅速かつ適切に対応することで、活力ある個性豊かな地域社会の形成や発展に寄与することを目的として締結されたもの。主に、産業および地域の活性化、地域防災、人材育成、教育・文化の振興の発展のために、連携協力されます。

兵頭誠亀鬼北町長は「当町のさらなる発展に向けて、皆さんからのご指導をいただきたい」と話し、大橋裕一愛媛大学学長は「この協定を契機に、活力ある鬼北町の実現に向けて連携していきたい」と、期待に応えていました。



▲固い握手を交わす大橋学長(写真右)と兵頭町長(写真左)